

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

頁	分野	授業科目	履修年	単位	時間数	概要	講師 (専任教員)	実務経験		
1	専 門 分 野	基礎看護学	37	概 論	1	1	30	看護学全般の概念をとらえ、看護の概念と機能を理解する。ここでは保健医療福祉の中での看護の位置づけや倫理について基本的なことを学ぶ。	島山 克子	看護師として 病院に勤務
2			38	看 護 倫 理	2	1	15	倫理学の基本的な考えを学び、生命倫理、医療倫理、看護倫理の基礎、倫理的問題への実践的なアプローチ、事例分析など自分の問題として考えられるよう取り組む。	秋山 聡美	看護師として 病院に勤務
3			39	人間関係形成技術	1	1	30	看護の対象となる人々の健康上のニーズを的確に把握し看護実践につなげるための、コミュニケーション技術、健康支援技術、および看護記録の基礎について演習を通して習得する。看護職者としての人間関係形成のための基本的態度・技術を学ぶ。	南 里江子 小山田 理恵	看護師として 病院、訪問看護 STに勤務
4			41	看 護 過 程	1	1	30	看護の目的を達成するための基礎的理論（ヘンダーソンの理論）を学び、対象を見る視点を養う。また、人に正しく状況を伝えるための表現や記載について学ぶ。ここでは事例を通して看護実践のための思考過程を学習し、具体的な援助を考える一連の過程を学ぶ。	秋山 聡美	看護師として 病院に勤務
5			42	清潔衣生活援助技術	1	1	30	看護実践活動の基本となる看護技術の概念を理解し、健康の維持・回復のために日常生活援助の清潔・衣生活を整える必要性について看護の役割を学び、生活援助技術の方法を身につける。	合佐毘 綾子	看護師として 病院に勤務
6			44	感染防止・排泄援助技術	1	1	30	健康の維持・回復のために感染防止と排泄を整える看護の役割を学び、生活援助技術の方法を身につける。	南 里江子 松野 絢	看護師として 病院、訪問看護 STに勤務
7			46	診察検査援助技術Ⅰ	3	1	15	症状・生体機能管理技術の基礎を学ぶとともに医療現場にあふれている多くの医療機器を安全に使用できるよう、機器の基本的なしくみ、使用方法について学ぶ	小山田 理恵	看護師として 病院に勤務
8			47	診察検査援助技術Ⅱ	3	1	15	治療・処置を受ける患者の不安や苦痛への援助の必要性ならびに安全安楽に介助技術を実践するために必要な知識・技術を学ぶ。	合佐毘 綾子	看護師として 病院に勤務
9	地域・在宅看護論	49	地域・在宅看護論概論Ⅰ	1	1	15	看護の対象について日々暮らしを営んでいる生活者として理解し、暮らしと健康の関係について学ぶ。人々の暮らしを多角的・学問的に理解し、そのうえで地域・在宅看護の意味、地域在宅看護が重視される社会的背景、地域在宅看護とはどんなことか、役割を理解する。	秋山 聡美	看護師として 病院に勤務	